

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



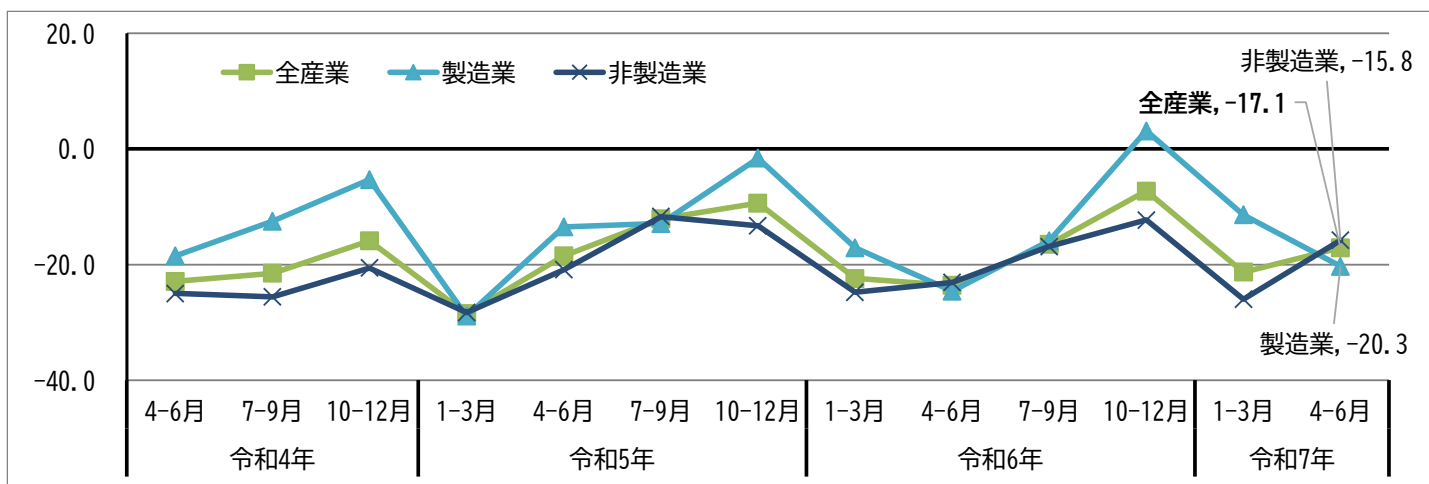
業況判断DIは全産業・非製造業で改善、製造業は悪化

- ◆売上高：全産業、非製造業は改善。製造業は悪化。
- ◆収益：全産業、非製造業は改善。製造業は悪化。
- ◆従業員：全産業、製造業、非製造業のいずれも不足感が弱まったものの、依然高い水準。

◆業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

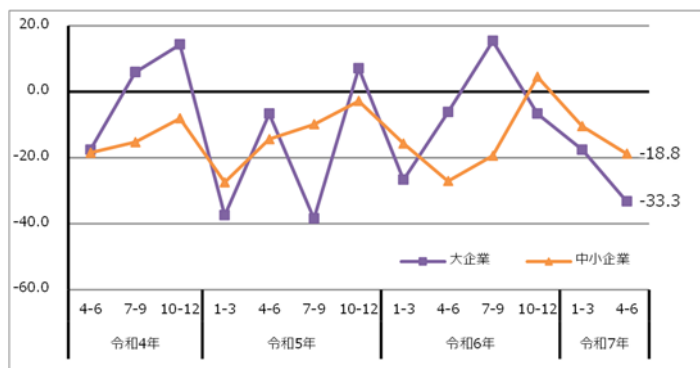
<全体>

業況判断 DI は、▲17.1（+4.2）で改善しました。業種別では、【製造業】は▲20.3（-8.9）で悪化、【非製造業】は▲15.8（+10.2）で改善しました。



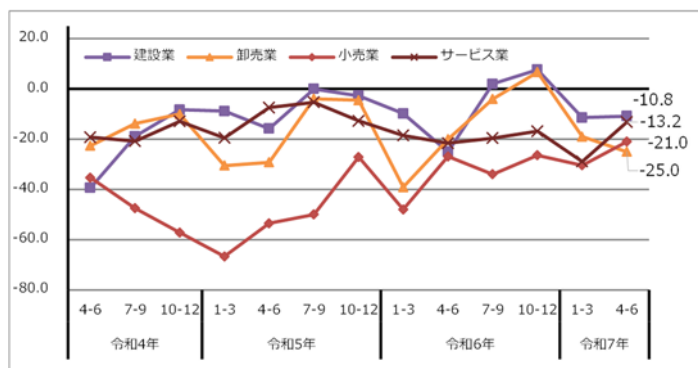
<製造業（規模別）>

【大企業】は▲33.3（-15.7）、【中小企業】は▲18.8（-8.3）と、いずれも悪化しました。



<非製造業（業種別）>

サービス業は▲13.2（+15.7）、小売業は▲21.0（+9.4）と改善、建設業は▲10.8（+0.6）で横ばい、卸売業は▲25.0（-6.0）と悪化しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス（Diffusion Index）」の略。「好転」（または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

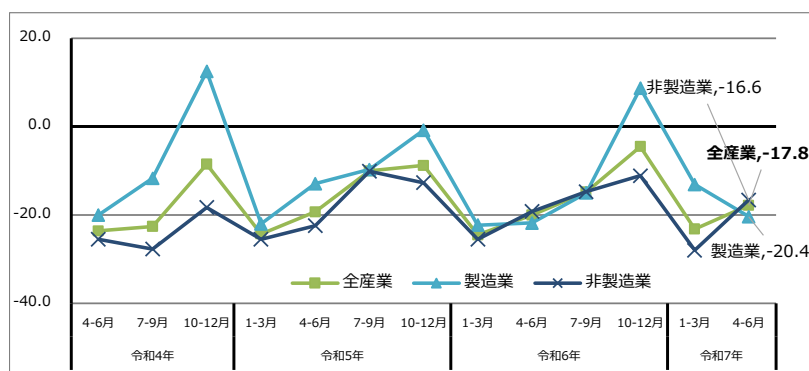
◆業界天気図



業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差									

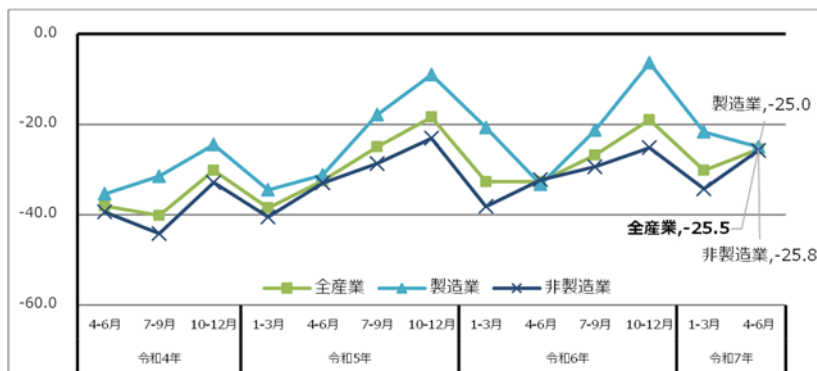
◆出荷額・売上高・完成工事高

- ・出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲17.8(+5.4) で改善しました。
- ・製造業は▲20.4 (-7.3) で悪化しました。非製造業は▲16.6 (+11.4) で改善しました。



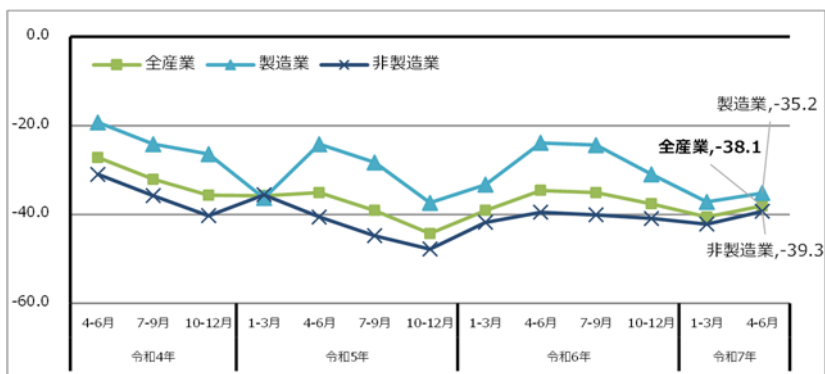
◆収益（前期比）

- ・収益（前期比）DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。
- ・全産業は▲25.5 (+4.7) で改善しました。
- ・製造業は▲25.0 (-3.3) で悪化、非製造業は▲25.8 (+8.5) で改善しました。



◆従業員過不足

- ・従業員の過不足 DI は、▲38.1 (+2.5) で上昇し、不足感が弱まりましたが、依然高い水準です。
- ・製造業は▲35.2 (+2.0)、非製造業は▲39.3 (+2.9) といずれも上昇し、不足感が弱まりました。



<本資料の問い合わせ先>

- 尼崎市 経済環境局経済部 イノベーション推進担当
 - (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室
- <https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

担当：南條・織田
担当：宮崎・桂山

連絡先：06-6489-6675
連絡先：06-6488-9534